

【狂気山脈 ネイキッド・ピーク とは？】

クトゥルフ神話と登山を融合させたTRPGシナリオ『狂気山脈 ～邪神の山嶺～』（作：まだら牛）を原案とするアニメーション映画作品。
今回、長編映画化の実現の第一歩として、試験的な短い映像であるパイロット・フィルムを制作。



▲公式サイト

【狂気山脈 ～邪神の山嶺～ とは？】

TRPG用に書かれたシナリオ。作家H.P.ラヴクラフトの小説『狂気の山脈にて』に登場する、南極の未知なる世界最高峰「狂気山脈」を舞台とし、前人未踏の山頂を目指す登山家たちの挑戦を描いた冒険譚。
未知への恐怖と、冒険的登山のリアルを描いた本格的な描写がマッチし、極限状態で剥き出しになる人間たちのドラマが魅力的なシナリオ。

【クトゥルフ神話 とは？】

20世紀にアメリカで創作された架空の神話。作家H.P.ラヴクラフトの描いた小説世界をもとに、彼の友人である作家オーガスト・ダーレスらの間で架空の神々や地名等の設定の共有を図り、作り上げられたもの。

【TRPG とは？】

テーブルトーク・ロールプレイングゲームの略。卓（テーブル）を囲んでトーク（会話）して遊ぶロールプレイングゲーム（RPG）というアナログゲームのジャンル。ダイス（サイコロ）などの道具を用いて、プレイヤーが自分のキャラクターを演じて会話しながら物語を作っていくゲーム。

2階特別展示

高校生のおすすめ本をピックアップ！

狂気山脈

～アニメ・ゲーム×怪異×山岳～

展示期間：令和5年4月27日（木）まで



高校生にPOPを作ってもらいました！
詳しくは中へ！

YA通信 番外号 '23年03月

YAとはヤングアダルトの略です。主に中学生・高校生をはじめとする10代の若者を指します。函南町立図書館のYA通信は、「YA世代が自ら発信することの出来る、参加型の刊行誌」をコンセプトにしています。みんなでYA通信を盛り上げていきましょう！

函南町立図書館

★アニメ アニメ化された物語の中から、高校生のおすすめ本を紹介します！



『獣の奏者』シリーズ
上橋 菜穂子／著 講談社 (Fウエ)
凄く活き活きとしたイラストですね！
表情が可愛い！タイトルロゴや枠も
一つ一つ丁寧に描かれた力作です！



『崖の上のポニョ』
宮崎 駿／原作・脚本・監督
徳間書店 (ET)
カラフルで可愛い塗り方やキャッチコピー
の文字が目を引き付けます！ポニョの
世界観がギュッと凝縮されていますね。

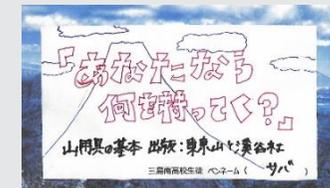


『君の臍臓をたべたい』
住野 よる／著 双葉社 (Fスミ)
言わずと知れた有名作ですね！
日記帳のような枠で書かれた紹介
の仕方が素敵です。



『化物語』(上・下巻)
西尾 維新／著 講談社 (Fニシ)
現代の怪異ラブノベといったらやっぱり
これですよ！今の高校生も好きな
ことを知れて嬉しいです。

★登山 高校生の一押し！

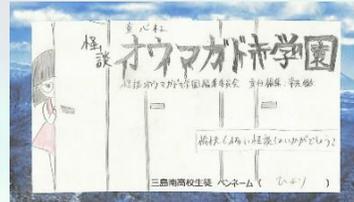


『山用具の基本』
ワンダーフォーゲル編集部／編
山と溪谷社 (786.1ヤ)
本格登山は未経験ですが、登山用具は
写真で見ただけでもワクワクしますね！
何を持って行くか…？うーん…。

★怪異 世の中には不思議がいっぱい… 高校生が好きな怪異の本を紹介します！



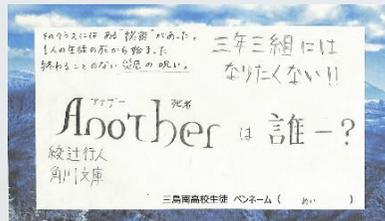
『ビジュアルで楽しむ
「クトゥルフ神話」』
森瀬 繚／監修 レッカ社／編著
PHP研究所 (930.25)
す、凄い…！色使いも字体もイラストも
物凄く凝っている！タイトル文字の色塗り
が水色に紫が滲んでいて綺麗ですね！



『怪談オウマガドキ学園』
シリーズ
常光 徹／責任編集 童心社 (913カ)
左端にひっそりと姿を見せる子が
可愛い！おどろおどろしい文字
とのギャップで、愉快さと怖さが表現
されていて良いですね！



『怪談レストラン』シリーズ
たかい よしかず／絵 童心社 (913カ)
わー、懐かしい！児童書でホラーといったら
まず頭に浮かぶのがこれ！今の子どもたち
にも大人気の本です。



『Another』([1]上・下巻)
綾辻 行人／著 角川書店 (Fアヤ)
タイトルとキャッチコピーの文字が綺麗！
長編だけれども世界観に引き込まれて、
つい一気に読みしてしまう作品ですよ！



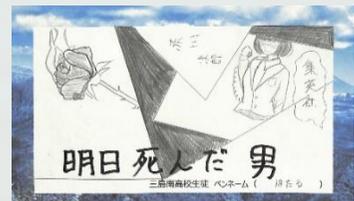
『妖怪アパートの幽雅な日常』
シリーズ
香月 日輪／著 講談社 (Fコウ)
散りばめられた名言のチョイスに「わかる！」
と物凄く同意しました。カラフルな色使いが
作品の楽しさを表現していて良いですね！



『死者はバスに乗って』
三輪 チサ／著 メディアファクトリー (Fミワ)
当館では貸出回数0回(涙)という
埋もれた作品の発掘ありがとうございます！
描かれた骸骨に何が起こるのか
ドキドキします。



『告白』
湊 かなえ／著 双葉社 (Fミナ)
作品内容にぴったりな文字の演出！
きっとバランスの試行錯誤を重ねたん
だろうな～と楽しく見ました！



『明日死んだ男』
赤川 次郎／著 集英社 (Fアカ)
あえて横になっている作者名や
イラストの入れ方など、構図が
凝ってますね！個人的にバラの絵
が好きです。